

# 公益財団法人京都市芸術文化協会

## 令和7年度 事業計画

令和7年度は京都市基本構想に基づく基本計画「はばたけ未来へ！京プラン2025」の最終年度であり、4月には大阪・関西万博が開催される等、文化芸術を発信する契機となる重要な時期が続いています。

当協会では、「交流の場づくり」、「学びの機会づくり」、「文化芸術の支援」、「調査・研究」の4つの活動の柱に基づいた事業に取り組み、また京都芸術センターの指定管理者として引き続き、京都市の芸術文化の発展に寄与できるよう「自主事業」「受託・共同主催事業」「京都芸術センター運営事業」を実施します。

また、寄附の獲得や新たな収益事業の検討といった自主財源の確保に向けた取組を引き続き進めるなど、自立した経営に向けた今後の方策を確立します。

### I 自主事業

#### 1 芸術文化に関する調査研究及び情報の提供

##### (1) 文化誌『藝文京』の発行

地域に根差した芸術文化を未来につなぐ視点で、寄稿や取材、対談、インタビューなどを掲載した文化誌を発行します。編集員として外部有識者を招き紙面の充実と着実な発行を図ります。

##### (2) 協会ウェブサイトの運営

協会ウェブサイト運営し、事業や会員催事情報の告知、活動レポートや資料の公開など、芸術文化や協会に関する情報を発信するため、協会ウェブサイトの刷新を図りオンライン上のアーカイブ（保存記録）としての役割も担います。

#### 2 各種芸術文化事業の実施及び奨励

##### (1) 第76回華道京展

華道発祥の地である京都において、市民文化の向上に寄与することを目的として、「花結び つながろう花と、人と」をテーマに、京都市・京都いけばな協会・(公社)京都市観光協会とともに第76回華道京展を大丸ミュージアムで開催します。(4月10日～15日)

##### (2) 市民狂言会

伝統芸能である狂言を、楽しく気軽に鑑賞する機会を広く市民に提供するため、年4回、京都観世会館において京都市と共同で狂言会を開催します(令和7年度は、毎回解説付き)。

(6月20日、8月29日、12月5日、令和8年3月6日)

### 3 芸術文化に関する教育及び普及

#### (1) 藝文京芸術教室

夏休み/冬休み期間中の子ども向けに、多様な分野の文化芸術に関するレクチャー、ワークショップ、鑑賞会等を開催し、子どもたちが文化芸術に触れる機会を創出します。

また一般対象の鑑賞ツアーを企画し企業等の運営する文化施設との連携を図ります。

開催日	事業名称	講師及び対象	会場
夏休み期間 に開催 (7月)	藝文京芸術教室 「夏の学校」 (分野及びテーマ は今後調整)	講師:協会会員及び京都芸術センタ ー事業で連携するアーティスト 対象:子ども	京都芸術センター
秋時期	藝文京芸術教室 鑑賞ツアー	講師:協会会員 対象:一般	京都芸術センター NISSHA印刷歴史館
冬休み期間 に開催 (1月)	藝文京芸術教室 「冬の学校」 (分野及びテーマ は今後調整)	講師:協会会員及び京都芸術センタ ー事業で連携するアーティスト 対象:子ども	京都芸術センター

#### (2) 藝文京コンサート「ピアノの時間」の開催

当協会会員の推薦等により、学生を含め若手の演奏家等によるコンサートを、引き続き開催します(無料、年2回程度)。

芸術センター内の講堂や大広間等でのイベントがない日時に、グランドピアノ及びスペースを活用し、気軽に音楽に触れる機会を創出するとともに、市民の方々等が芸術センターに来館する契機となり、また多様な方々が交流する場となることを目指します。

開催日	事業名称	出演者及び対象	会場
年2回程度 (予定)	ピアノの時間	出演者:未定(協会会員の推薦等 により若手の演奏家等を予定) 対象:一般	京都芸術センター

### 4 芸術家等の育成及び顕彰

#### (1) 京都いけばなプレゼンテーション2025

京都いけばな協会の協力のもと6月6日「いけばなの日」に、いけばな文化を広く発信し、その魅力や花のある暮らしの喜びを様々な切り口で紹介するイベントを開催します。

開催日	事業名称	内容・協力等	会場
6月7・8日 6日公開いけ こみ	京都いけばなプ レゼンテーショ ン2025	「いけばな推し!~my favorite flower~」をテーマとするいけばな 展及び子どもや一般の方を対象と する体験の提供。 協力:京都いけばな協会(団体会員)	京都芸術センター

## (2) 京都ビッグ・バンド・フェスティバル

京都府吹奏楽連盟の協力のもと、小学生から社会人までの世代ごとに選抜されたプレイヤーが合同演奏を行う演奏会で、高いレベルでの相互交流を深め、演奏技術の向上と将来の音楽文化を担う人材の育成を目指し開催します。

開催日	事業名称	主催・出演等	会場
令和8年 2月調整中	第50回 京都ビッグ・バンド・フェスティバル	主催：京都市、当協会 協力：京都府吹奏楽連盟（団体会員） 出演：京都府吹奏楽連盟所属団体	京都コンサート ホール大ホール

## (3) 芸術家等の顕彰

当協会に所属する会員を対象とし、京都市芸術文化協会賞として、近年の芸術文化活動が特に顕著な方や、芸術文化の向上に多大の功労があったと認められる方を、また、同新人賞として、新進で活発な芸術文化活動が認められる方や、今後の芸術文化活動においてさらにその活躍が期待される方を、それぞれ表彰します。

## 5 その他芸術文化の振興を達成するために必要な事業

### (1) 藝文京サロン

文化芸術について語り合うと同時に、芸術文化分野だけでなく、学校、企業、行政など、あらゆる立場の方が交流し、芸術文化協会の文化芸術を軸としたネットワークハブとなることを目指して、藝文京サロンを継続開催します(年4回を予定)。

### (2) 【新規】京都芸術センター館内ツアー（仮称）

芸術センターの施設について有償のツアーを実施し、芸術センターの知名度向上と収益モデルづくりに取り組みます。

今後のスケジュール（予定）

6月中下旬	ボランティア対象のモデル実施 定員：12人(先着順) 内容：15:00 集合 レクチャー＋館内ツアー45分 15:50～ 前田珈琲で意見交換（フィードバックをもらう） 意見交換の後は自由解散
8月頃	内容確定、要綱整備、ホームページ掲載（募集開始）
秋頃	年度内に2回程度実施

### (3) その他会員関連活動等

#### 総会・懇親会

令和7年7月9日に会員総会を開催予定（会場：FORTUNEGARDEN KYOTO）。

同日、会場にて協会賞・新人賞の表彰を行い、会員同士の交流を図る懇親会を開催します。

## Ⅱ 受託・共同主催事業

京都を新たな魅力に満ちた文化芸術都市として創生することを目指して制定された「京都文化芸術都市創生条例」及びその具体的な指針となる「第二期京都文化芸術都市創生計画（平成29年3月策定）」等に基づく事業を受託及び共同主催し、当協会の広範な芸術家のネットワークと文化事業の実績、ノウハウ等を活用して事業を実施します。

### 1 市民狂言会（共同主催）【再掲】

伝統芸能である狂言を、楽しく気軽に鑑賞する機会を広く市民に提供するため、毎回解説付きで年4回、京都観世会館において京都市と共同で狂言会を開催します。

（6月20日、8月29日、12月5日、令和8年3月6日）

### 2 学校教育をはじめ、あらゆる機会を通じた文化芸術に触れる取組

#### （1）文化芸術授業（ようこそアーティスト）（受託）

京都市内の小・中・総合支援学校、幼稚園、保育園（所）、児童館等を対象に、伝統芸能から現代美術まで、多様なジャンルのアーティストを講師として派遣し、特別授業を行います。希望するすべての学校等を採択できるよう、予算を拡充し110箇所程度の実施を見込んでいます。

#### （2）伝統公演授業（ようこそ和の空間）（受託）

和の文化を体感できる能楽堂において、京都市内の中学生を対象に1日2公演の伝統芸能鑑賞公演を実施します。

#### （3）ようこそ和の体験（仮称）低年齢層集合型<新規>（受託）

未就学児とその保護者を対象として、能・狂言・日本舞踊などに直接触れる機会をつくれます。令和7年度は、新規事業として市内2箇所程度での実施を予定しています。

### 3 伝統芸能文化創生プロジェクト（共同主催）

京都市と共同で実施している伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス（略称：TARO）では、伝統芸能文化に関係する個人や団体のネットワークの構築や基礎調査等のほか、伝統芸能文化を現代に適応した形で活性化することを目指す取り組みを行っています。

令和7年度は「伝統芸能文化復元・活性化プログラム」として、令和5年度以前から進行中のプログラム（9件。以下参照）を着実に進めながら、1件の新規採択を行うとともに、新たな取組として交流ネットワーク事業（シンポジウム等。詳細未定）を実施する予定です。

- ①若手へ向けた鯖江人形浄瑠璃の技能継承と他地域との交流
- ②社・東条を中心とした播州音頭踊りの継承と発信プロジェクト
- ③十津川盆踊りの伝承・保存・活用発信
- ④新素材による鉦すりの試作と生産業者の探索
- ⑤見島のカセドリ蓑藁製作技術の確保計画
- ⑥古物重厚意匠糊地能楽扇の写し製作
- ⑦笛譜・唱歌制作による石見神楽の継承円滑化事業
- ⑧三味線音楽のScratch教材開発：常磐津節を通じて日本の伝統芸能に親しむため

の教育プログラムづくりとその普及の試み

⑨郷土芸能の若手継承へ向けたネットワークの構築と発信手法の模索

#### 4 KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭2025（共同主催）【後掲】

#### 5 アーティスト・イン・レジデンス連携拠点事業（受託）

全国のアーティスト・イン・レジデンス（AIR）の拠点となるためのプラットフォームを構築し、国際文化交流をより一層加速させ、世界中からアーティストやAIRの情報が京都に集まる環境整備を進めます。

##### （1）情報集約・発信

これまでにネットワークを構築したAIR施設等の情報をまとめたデータベースを活用し、日本のAIR情報を一元的に世界に向けて発信するウェブプラットフォームを運営します。

##### （2）調査研究・AIRに関するアーカイビング

AIRプログラムの事例を調査し、紹介するほか、日本、世界でのAIRに関する議論を深めアーカイブ化します。

##### （3）ネットワーク構築

AIRに関する様々な相談に応じるための窓口機能を設置します。

#### 6 京都市文化芸術総合相談窓口（KACCO）の運営（受託）

文化芸術関係者の活動に関する相談等に総合的に対応するため、令和3年度に京都芸術センター情報コーナー内に設置した総合相談窓口（KACCO）を継続して運営します。電話、メール、オンライン、対面等による相談受付、相談会の実施、士業相談、メンタルケア、芸術家・芸術関係者の移住・定住に係る相談受付、その他講座やワークショップ等を企画し実施します。

#### 7 京都市助成金等内定者資金融資制度融資窓口業務（受託）

#### 8 アート×ビジネス推進事業（受託）

京都芸術センターの施設の一部を活用して、スタートアップ企業等のオフィスとして京都市が貸し出すとともに、芸術センターに集う若手アーティストと入居企業等との交流をはじめ、広く芸術関係者と企業等との交流やマッチングの機会づくりを積極的に推進します。

##### （1）セミナー・交流会

アーティスト、企業双方の方が関心のあることをテーマに、年3回程度のセミナー及び交流会を実施します。

##### （2）事業開発

令和7年度にモデル事業として市職員を対象に実施した研修内容をブラッシュアップし、企業向け研修プログラムを作成し、企業向けにアプローチを行います。

### (3) マッチング事業

アートとビジネスに関する相談窓口を開設し、マッチング支援を行います。

## 9 京都市自治記念式典オープニングセレモニー（受託）

10月15日に開催される京都市自治記念式典のオープニングセレモニーにおいて、協会の持つネットワークをいかし、伝統文化によるパフォーマンスを実施します。

## 10 京都市京セラ美術館×京都芸術センタートライアングル・プロジェクト（仮）（受託）

京都市京セラ美術館の「ザ・トライアングル」での共同プロジェクトをスタートし、現代美術分野における新進気鋭の芸術家支援を強化します。

「ザ・トライアングル」は、京都市京セラ美術館のリニューアルオープンの際に設置されたスペースです。2025年度以降、京都芸術センターと京都市京セラ美術館のスタッフが一体となって、同スペースの運営を行い、両施設に蓄積するノウハウや人的ネットワークを掛け合わせることで、京都から世界に向けて羽ばたこうとする新進気鋭のアーティストたちの活動を、これまで以上にしっかりと支援していきます。

### Ⅲ 芸術文化活動拠点施設運営事業

京都における芸術文化活動拠点施設である京都芸術センターの運営を通して、芸術活動の支援、芸術文化情報の発信、芸術を通じた芸術家と市民等との交流を行うことで、芸術家や芸術関係者が連携して、京都における芸術を総合的に振興することを目的とする事業です。

当協会では、京都芸術センターが開設された平成12年4月から、京都市からの業務委託を受けてセンターの運営を行っており、平成18年度からは、地方自治法の改正に伴い、指定管理者として管理運営を行っています。

京都芸術センター開設25周年を迎えるに当たり、令和7年度は25周年記念事業を実施します。

#### 【活動センター機能】

##### 1 制作支援事業

###### (1) 制作支援事業（制作室使用者の公募）

京都芸術センターの基幹事業として、制作室の使用者を年2回（3月及び9月）公募し、審査のうえで1申請につき最長6ヶ月間（令和6年度から変更）、制作室を無償で提供します。

また、使用者は月例の使用者連絡会に出席し、明倫ワークショップ等を通じて市民との交流を図ります。

###### (2) Co-program2025（企画公募）

アーティストや芸術団体から京都芸術センターと協働して実現する企画を公募し、審査を経て採択された公演や展覧会、実験のプロセス等を総合的に支援します（制作室の提供、制作費の一部負担、発表場所の提供等）。

###### ① カテゴリーA：「共同制作」（公演事業）2件

実施時期	事業名	アーティスト又は団体名
7月～8月	「Bambino! 0才からのパフォーマンスアート」	千代その子・米澤百奈
2026年1月～2月	「悲円」	ペペペの会

###### ② カテゴリーB：「共同開催」（展覧会事業）2件

実施時期	事業名	アーティスト又は団体名
7月～8月	「影の残影」	企画：李静文
11月～12月	「包摂と／And Inclusivity」	企画：水木壘

③ カテゴリーC：「共同実験」（リサーチ、レクチャー、ワークショップ等）1件

実施時期	事業名	アーティスト又は団体名
10月、12月	「Research for ‘The Self in season’」	小尻健太（SandD）

（3）U35創造支援プログラム「KIPPU」（公募事業）

創作に専念できる京都芸術センターの制作室と、舞台設備の備わったロームシアター京都ノースホールの提供を通じて、舞台機構を活用し、作品規模の拡大等に挑戦する概ね35歳以下のアーティストを募集します。

審査を踏まえ3団体を選出し、制作面でのアドバイスや批評の依頼も行います。

実施時期	採択アーティスト・団体	内容
9月	幻灯劇場<大阪>	演劇作家や映像作家、ダンサー、写真家など多様な作家が集まり、よってたかって演劇をつくる集団。Aえ! groupとコラボした音楽劇『鬱憤』や、日本センチュリー交響楽団とDJ・水野蒼生とタッグを組んだフィジカルシアター『Play is Pray』を上演するなど、ジャンルを越え様々なアーティストたちと作品をつくっている。
12月	餓鬼の断食<奈良・京都>	021年に川村智基が立ち上げ。団体名はことわざ。意味は『あたり前のことなのに、特別なことをしているかのように人前をつくろうことをたとえ』。 本公演にあたる『vol. シリーズ』、既製戯曲を基に他分野のアーティストとコラボを行う『戯れシリーズ』、身体表現を模索する『企みシリーズ』の3軸で活動を展開する。
2026年3月	トレモロ<兵庫>	2010年、東京で結成。全作品の演出を早坂彩が手がける。 利賀演劇人コンクール2015『イワーノフ』にて優秀演出家賞・観客賞受賞。テキストレジの巧みさと空間のレイヤーを生かした演出を評価される。 2024年、活動拠点を兵庫県神戸市に移す。近作にSCOTサマー・シーズン2022×豊岡演劇祭2022『新ハムレット』（作・太宰治）、『新ハムレット』京都・東京二都市ツアー、『Port-見えない町の話をしよう-』（作・久野那美）大阪公演など。

（4）京都国際ダンスワークショップフェスティバル2025

一般社団法人ダンスアンドエンヴァイロメントとの共同主催として、国際的に活躍する講師を招き、ダンスワークショップを実施します。

会場は、京都芸術センターのほか、中京青少年活動センター、瓜生山学園京都芸術大学

楽心荘でも開催し、若手層へのリーチを強化します。

開催日	招聘予定講師
8月4～17日	エマニュエル・ユイン（フランス）、カティア・ムストネン（フィンランド）、ジェームス・フィンモア（イギリス）、シュカ・ホルン（ドイツ）、ニア・デヴォルヴ（ドイツ）、呉宮百合香（東京）、東野祥子（京都）、アラン・シナンジャ（兵庫）、斉藤綾子（大阪）、小倉笑（京都）、坂本公成+森裕子（京都）など

## 2 発表支援事業

### (1) 展覧会事業

#### ① 企画展

開催時期	事業名	内容
4月12日～ 6月8日	京都芸術センター開設25周年記念展覧会「そのへんにあるもの」展	1980年代にアーティストの赤瀬川原平が命名し、広く流通した概念「超芸術トマソン」。その歴史的な資料等を紹介するとともに、若手・中堅作家による「トマソン」的な作品を展覧する。

#### ② 若手美術作家のグループ展

開催時期	事業名	内容
2026年 1月下旬～ 3月上旬	ニューミュージーション	京都に地縁のある若手作家2名によるグループ展を開催予定。

#### ③ 中堅美術作家による個展

開催時期	事業名	内容
2026年3月下旬～5月	FOCUS #6 澤田華展	版画を学び、近年は映像メディアの可能性を広げる中堅作家の澤田華の個展を開催する。

### (2) KAC Performing Arts Program (KACPAP) (公演事業)

演奏者・俳優・ダンサー等の、プレイヤーの芸術的な探求の機会を提供し、その成果を広く発信します。

実施時期	アーティスト	内容
5月31日～6月7日、2026年3月下旬	向井山朋子	オランダ在住のピアニスト向井山朋子による女性、ジェンダー問題をテーマに行うプロジェクト。ワークショップやパフォーマンスを実施。
8月22日～24日	劇団不労社	京都を拠点とする若手劇団・劇団不労社による林慎一郎（極東退屈道場）作の「タイムズ」を上演する。

11月22日～24日	篠田千明	ジョグジャカルタで初演された作品「まよかけ／Mayokage」の関西初演。
------------	------	---------------------------------------

### (3) 継ぐこと・伝えること

実施時期	アーティスト	内容
6月9日	竹本碩太夫、鶴澤寛太郎 (予定)	文楽太夫として注目を集める竹本碩太夫が「玉藻前囃袂 道春館の段」を実演。

### (4) KACパートナーシップ・プログラム2025 (企画公募・共催事業)

①公演や展覧会の発表支援、②シンポジウムやレクチャー等、創造環境整備や情報交流、人材育成等に資する事業を対象に、公募を通じて京都芸術センターの施設を提供する活動を選定し、共催します。現在選考中 (応募総数40件、一次審査通過10件、採択件数5件予定)

## 3 伝統的芸術の継承・創造事業

### (1) 明倫茶会

学術、芸術、文化、産業等の様々な分野で活動している方を席主として、趣向を凝らした茶会を開催します。(4回程度開催予定)

実施時期	席主	内容
4月26日	津田純佳 (アトリエスタ ／みりおらーれ代表)	「1さいからの“光のかたち”」と題し、NPO和の学校とのコラボレーションにより、こどもたちと一緒に作り楽しむ茶会。
未定	山極壽一 (京都市芸術文化協会理事長)	山極壽一とアーティストのコラボレーション茶会。

### (2) トラディショナル・シアター・トレーニング2025 (T.T.T.)

国内外の芸術家・研究者等を対象に、一流の講師陣による直接的な指導のもと、日本の伝統芸能の基礎知識・技術等を習得するプログラムです。

開催時期	内容
7月10日～8月8日	令和7年度は能と日本舞踊の2コースとオプションで小鼓のコースを開講。約3週間の稽古を行った後、その成果を大江能楽堂にて発表する。 新ディレクター：ジェーン・トレーナー

## 4 先駆的・実験的事業

### (1) KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭2025 (共同主催)

国内外の実験的な舞台芸術を創造・発信し、芸術表現と社会を、新しい形の対話でつなぐことを目指す国際舞台芸術祭です。10月4日から10月26日まで、京都芸術センター等の会場で国内・海外から先駆的な作品を紹介します。

## (2) KYOTOGRAPHIE京都国際写真祭2025

京都市が共催しているKYOTOGRAPHIE京都国際写真祭。令和7年度は、「そのへんにあるもの」展の一部を共同制作します。

開催時期	内容
4月12日～6月8日	京都芸術センター主催の展覧会「そのへんにあるもの」展のギャラリー南を、KYOTOGRAPHIE京都国際写真祭と共同制作します。

## 5 芸術家・芸術関係者育成事業

### (1) アートマネジメント講座

アートマネジメント専門人材の育成を図るため、ロームシアター京都、NPO法人京都舞台芸術協会等と連携し、包括的な連続講座を実施します。

### (2) アートワーカー・ゼミ『作品から知る世界（仮）』

主に京都芸術センターで発表歴のある作品を8点程度取り上げ、その創作の背景にある社会課題等についてのレクチャーと対話を行う。ゲストに専門家などを招き、作品を取り扱う上でのポイントや起こりえる問題なども併せて話題として提供。2026年度中に、アーカイブを書籍として発行することを目指します。

## 【情報センター機能】

### 1 芸術文化情報の収集・発信事業（センター施設内）

#### (1) 図書室の運営

京都芸術センター主催事業のアーカイブ及びそれに準じる芸術文化に関する資料の収集と保存を主な目的とし、センターならではの資料室としての役割を強化します。

来館者や制作室利用者にとっての資料の親しみやすさを考慮し、収蔵図書や資料を紹介するイベントを随時開催します。

#### (2) 情報コーナーの運営

芸術文化に関するイベント情報等のポスター、チラシ等を収集し、年間約700種を掲出します。

### 2 芸術文化情報の収集・発信事業（オンライン）

#### (1) 京都芸術センター・ウェブサイト

令和6年4月にフルリニューアルしたウェブサイトを活用し、京都芸術センターの施設案内、イベント情報等を発信します。

#### (2) 京都芸術センター・メールニュースの発行、SNS

京都芸術センターにおける各種事業を告知するメールマガジンを配信します（毎月配信）。

また、速報性のあるTwitterやFacebook、instagramといったSNSも効果的に活用し、発信力を高めます。

### (3) 京都文化芸術オフィシャルサイト (KYOTO ART BOX)

京都市の文化芸術全般の情報を集約したウェブサイトを経営します。平成27年度より京都芸術センター事業として実施し、京都文化芸術コア・ネットワークとの連携をはかり、プロジェクトやメンバー実施事業のレポート等を掲載しています。

なお、令和5年度にKYOTO ART BOX内に開設した子ども向けサイト「FOR KIDS」を経営し、引き続き、子ども向けの情報発信にも努めます(京都市受託)。

### (4) 京都文化芸術コア・ネットワーク

京都を中心に文化芸術を支える専門的活動を行う者が、多種多様な情報を収集、編集、発信するため、情報交流のプラットフォームとしての京都文化芸術コア・ネットワークを経営します。メンバーが企画実施するプロジェクトのサポート等を行います。

## 【交流センター機能】

### 1 アーティスト・イン・レジデンス (AIR) 事業

国内外の組織と連携し、多様なアーティストの京都でのリサーチや滞在制作を支援します。

また、京都を拠点とするアーティスト等の海外派遣も積極的に取り組み、国際文化交流・人的交流のハブとしての役割を果たします。

#### (1) 公募プログラム【招聘】

滞在期間	参加者名	渡航先 (ジャンル)	概要
4月10日～ 7月10日	anthi	チリ (パフォーマンス アート)	日本のポップカルチャーを題材し、この社会の中に流通している性をめぐる規範に異なった視点を作り出すことを目指す。

#### (2) 海外文化機関等からの派遣アーティストの受入れ

滞在期間	参加者名	居住国 (ジャンル)	概要
未定	未定	ノルウェー	【OCA (Office for Contemporary Art Norway) との連携】

#### (3) 海外文化機関等へのアーティスト派遣

滞在期間	参加者名	渡航先 (ジャンル)	概要
7月-8月	白井仁美	ノルウェー (美術)	【OCA (Office for Contemporary Art Norway) との連携】

### 2 市民及び芸術家等との交流事業

#### (1) 明倫ワークショップ

制作室使用者が市民との交流を図るため、ワークショップを無料で実施します。

#### (2) STUDIO OPEN DAY

明倫ワークショップを軸として、様々なイベントを集中的に開催します。京都芸術セ

ンターの制作支援事業の周知を図るとともに、活動するアーティストと市民の出会いの機会を創出します（年2回程度）。

### （3）明倫レコード倶楽部

講師に作家のいしいしんじを迎え、レコード鑑賞を中心に、趣向を凝らした音楽鑑賞会を開催します（年4回程度）。

## 3 教育普及事業

### （1）鑑賞支援プログラム

市民への芸術センターの認知度向上及び活動(作品)理解を図る講座等を開催します。

## 4 地域・学術・産業との連携事業

### （1）地域との連携事業

開催時期	事業名
調整中	ペトロフ・ピアノコンサート (主催)明倫ペトロフの会、明倫自治連合会、京都芸術センター
11月(予定)	明倫フェスタ (主催)明倫自治連合会

### （2）ボランティア制度

展覧会の看視や公演の受付等、京都芸術センターの活動をさまざまなかたちで支えるボランティア制度を運営しています。

ボランティア・スタッフは、事業のサポートのほか、ボランティア・スタッフによる有志の自主的活動である京都芸術倶楽部や古典芸能勉強会、茶の湯サロン「いっぷく」などを通じて芸術に関する知見を深めるとともに、ボランティア・スタッフ同士あるいはボランティア・スタッフと京都芸術センターを訪れるアーティスト等との交流を深めています。

※登録者数：146名（令和7年3月1日現在）

### （3）京都芸術センターサポーター会（通称：KACサポーター）

京都芸術センターの支援組織として設置していた友の会及び協賛会を統合し、令和6年度から京都芸術センターサポーター会に移行しました。

今後は、広報面を強化し、京都の若い芸術家たちの活動を知り、応援したいという方々からの支援を呼び掛けます。

なお、会員特典としては、芸術センター内のチケット窓口やカフェで使用可能なKACチケットの配布等を行います。

・KACサポーター会

（会費）個人会員10,000円、団体・法人会員50,000円

※いずれも税制上の優遇措置を受けられます。

#### (4) 企業協賛

京都芸術センターの事業をより充実させることを目的に、企業等からの協賛金の獲得を目指します。また、資金提供のほか、アーティストが滞在するためのホテルや作品のための素材や技術等、宿泊場所や物品協賛の獲得も目指します。

#### 5 KAC25周年記念事業等【新規】

令和7年度に京都芸術センター開設25周年を迎えるに当たり、令和7年度に、京都芸術センター開設記念事業を実施します。

- (1) 「25」(4月19日・20日)
- (2) 「そのへんにあるもの」展(4月12日～6月8日)
- (3) 明倫茶会「1さいからの“光のかたち”」(4月26日)
- (4) 向井山朋子「WE ART THE HOUSE」(5月31日)
- (5) 第66回継ぐこと・伝えること「義太夫節(仮)」(6月29日)